

訪問型介護予防事業利用者数推計

《参考資料1「要介護認定者数の推計」より》

| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|----------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 認定者 (人) | 要支援1 | 584 | 647 | 681 | 709 | 746 |
| | 要支援2 | 700 | 785 | 832 | 873 | 916 |
| うち新規認定者 (人) | 要支援1 | 270 | 297 | 314 | 331 | 349 |
| | 要支援2 | 250 | 275 | 291 | 306 | 322 |

(認定者700人中、訪問介護利用者数212人の割合)

(認定者584人中、訪問介護利用者数170人の割合)

《参考資料2「平成25年度主駒市地域包括支援センター別サービス利用状況」による推計》

| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|----------------|------|--------|--------|---------|--------|--------|
| 訪問介護(人) | 要支援1 | 170 | 188 | 197 (a) | 206 | 216 |
| | 要支援2 | 212 | 236 | 250 (b) | 262 | 275 |
| うち新規認定者 (人) | 要支援1 | 43 | 47 | 49 (c) | 52 | 54 |
| | 要支援2 | 50 | 54 | 58 (d) | 60 | 63 |

| | |
|--------------------------|--------|
| 要支援1 シルバー人材センター利用者見込み | 24人 ※1 |
| 現行訪問介護利用者見込み | 25人 ※2 |
| 要支援2 シルバー人材センター利用者見込み | 19人 ※3 |
| 現行訪問介護利用者見込み | 39人 ※4 |

*参考資料3「介護予防訪問介護・介護予防通所介護利用者の総合事業利用移行予測について」により、割合を利用

平成27年度訪問型介護予防事業算定内訳

【利用対象者数】

○新規申請者

- ①シルバー人材センター 43人(支1 24人+支2 19人 ※1、3)
(生活支援サービス)
- ②訪問型介護予防事業(直営) 99人(通所型介護予防利用者と同数)
- ③現行訪問介護 64人(支1 25人+支2 39人 ※2、4)

○二次予防事業対象者

- ①シルバー人材センター 21人(20人×1.05)×48回=1,008人
(生活支援サービス)

※平成26年の生活支援の見込×1.05(H26~H27高齢者数の推計伸び率)で算定

【事業費】

①シルバー人材センター

- 二次予防事業 1,008人×1,200円=1,209,600円
- 要支援1 24人×8回×12ヶ月×1,200円=2,764,800円
- 要支援2 19人×12回×12ヶ月×1,200円=3,283,200円

※要支援1:週に2回1日あたり1時間利用見込み
要支援2:週に3回1日あたり1時間利用見込み

計 7,257,600円……ア

②訪問型介護予防事業(直営)

- 72回(48回(4クール)+24回(2クール))×30,000円=2,160,000円……イ

※週1回1日あたり3件の訪問を設定。通所介護との併用利用

③現行訪問介護

- 要支援1 : 197人(a) - 49人(c) = 148人 148人 + (25人(※2) × 0.9) = 171人

- 1回/週 171人×75% = 128 128人×12,200円×12ヶ月 = 18,739,200円
- 2回/週 171人×25% = 43 43人×24,400円×12ヶ月 = 12,590,400円

- 要支援2 : 250人(b) - 58人(d) = 192人 192人 + (39人(※4) × 0.9) = 227人

- 1回/週 227人×54% = 123 123人×12,200円×12ヶ月 = 18,007,200円
- 2回/週 227人×31% = 70 70人×24,400円×12ヶ月 = 20,496,000円
- 3回/週 227人×15% = 34 34人×38,700円×12ヶ月 = 15,789,600円

※※ 平成25年度実績から割合算出 (参考資料4)

計 85,622,400円……ウ

ア+イ+ウ=95,040,000円

(注)①シルバー人材センター、③現行訪問介護は、主に生活支援(家事援助)。
②訪問型介護予防事業は、ADL、IADLに関する動作、生活指導を行うものである。

通所型介護予防事業利用者数推計

《参考資料1「要介護認定者数の推計」より》

| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 認定者 (人) | 要支援1 | 584 | 647 | 681 | 709 | 746 |
| | 要支援2 | 700 | 785 | 832 | 873 | 916 |
| うち新規認定者(人) | 要支援1 | 270 | 297 | 314 | 331 | 349 |
| | 要支援2 | 250 | 275 | 291 | 306 | 322 |

(認定者700人中、通所介護利用者数216人の割合) 31%
 (認定者584人中、通所介護利用者数115人の割合) 20%

《参考資料2「平成25年度生駒市地域包括支援センター別サービス利用状況」による推計》

| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-------------|------|--------|------------------------|--------|--------|--------|
| 通所介護 (人) | 要支援1 | 115 | 129 | (a) | 136 | 142 |
| | 要支援2 | 216 | 243 | (b) | 258 | 271 |
| うち新規認定者(人) | 要支援1 | 67 | $\times 19.3\% = 15$ 人 | (c) | 79 | 82 |
| | 要支援2 | 76 | $\times 19.3\% = 18$ 人 | (d) | 90 | 95 |

要支援1
 集中介入期利用者見込み 22人 ※1
 移行期利用者見込み 15人 ※2
 生活期利用者見込み 5人 ※3

要支援2
 集中介入期利用者見込み 25人 ※5
 移行期利用者見込み 18人 ※6
 生活期利用者見込み 5人 ※7

要支援1、2
 維持期利用者見込み 79人 ※4 (要支援1 79人+要支援2 90人=169人 169人×46.8%=79人)

*参考資料3「介護予防訪問介護・介護予防通所介護利用者の総合事業利用移行予測について」により、割合を利用

平成27年度通所型介護予防事業算定内訳

【利用対象者数】

- 新規申請者
 ①集中介入期 47人(支1 22人+支2 25人 ※1、5)……ア
 ②移行期 33人(支1 15人+支2 18人 ※2、6)
 ③生活期 10人(支1 5人+支2 5人 ※3、7)
 ④維持期 79人(※4) ……イ

○二次予防事業対象者

- ①集中介入期(事業所Ⅰ) 13人×4クラス=52人……ウ
 ②移行期
 パワーアップ教室(事業所Ⅱ) 15人×4クラス×4クール×1.05=252人
 転倒予防教室 10人×4クラス×1.05=42人
 膝・関節教室 10人×4クラス=40人
 ③生活期 ひまわりの集い 60人×2クラス+地域型

【事業費】

- ①集中介入期
 事業所委託 47人+52人=99人(ア+ウ) 99人÷15人=6クラス
 12,606,000円 ……(1)
 ※平成26年度 4クラス 8,404,000円

②移行期

33人+従前の二次予防事業対象者の1.05倍

パワーアップ教室 252人×6,000円×10回=15,120,000円
 252人×3,000円×2回=1,512,000円

転倒予防教室(健康運動指導士、看護師等への報酬費) 4クラス
 委託料:2,368,000円

腰痛・膝関節教室(セラピスト、看護師等への報酬費) 4クラス
 委託料:2,628,000円

計 21,628,000円 ……(2)

③生活期

ひまわりの集い 2,800,000円 ……(3)

④維持期

現行の通所介護への移行割合 要支援1:1/3 要支援2:2/3

要支援1 136人(a)-79人(c)+(26人(※4×1/3)×0.9)=80人
 要支援2 258人(b)-90人(d)+(53人(※4×2/3)×0.9)=216人

要支援1: 80人×12ヶ月×2099単位×10=20,150,400円
 要支援2: 216人×12ヶ月×4205単位×10=108,993,600円

計 129,144,000円 ……(4)

(1)+(2)+(3)+(4)=166,178,000円